

三重県宮川上流部 宮川森林組合による持続可能な森林経営促進型プロジェクト  
よみがえれ森林！！林業活性化に向けて～森の声をかたちに～

宮川森林組合では広葉樹を中心とした森づくりを行っています。自然条件に合わせ多様な樹木の棲み分けをしている自然林から学び、植える樹種や配置などを最初に設計することで、植樹後も順調に生長しています。自然条件に適した木を選んで人工的に広葉樹の森を作るとはとても難しく、全国でも成功例はあまりありません。そこで、私たちは、J-VER制度を活用した『オフセット・クレジット』と自然のあり様から設計する『森づくり』を組み合わせた、これまでにはない全く新しい『duplex植樹』を提案します。

プロジェクトの実施場所	三重県多気郡大台町
吸収量(予測)	年間 2,484t-CO2
在庫量(H23年9月時点)	3,689t-CO2
クレジットの次回発行予定	平成25年3月
1t-CO2あたりの希望単価	5,000～10,000円

## 【duplex植樹とは】

1つの投資で2つの効果が得られる植樹です。契約のパターンは2つあります。

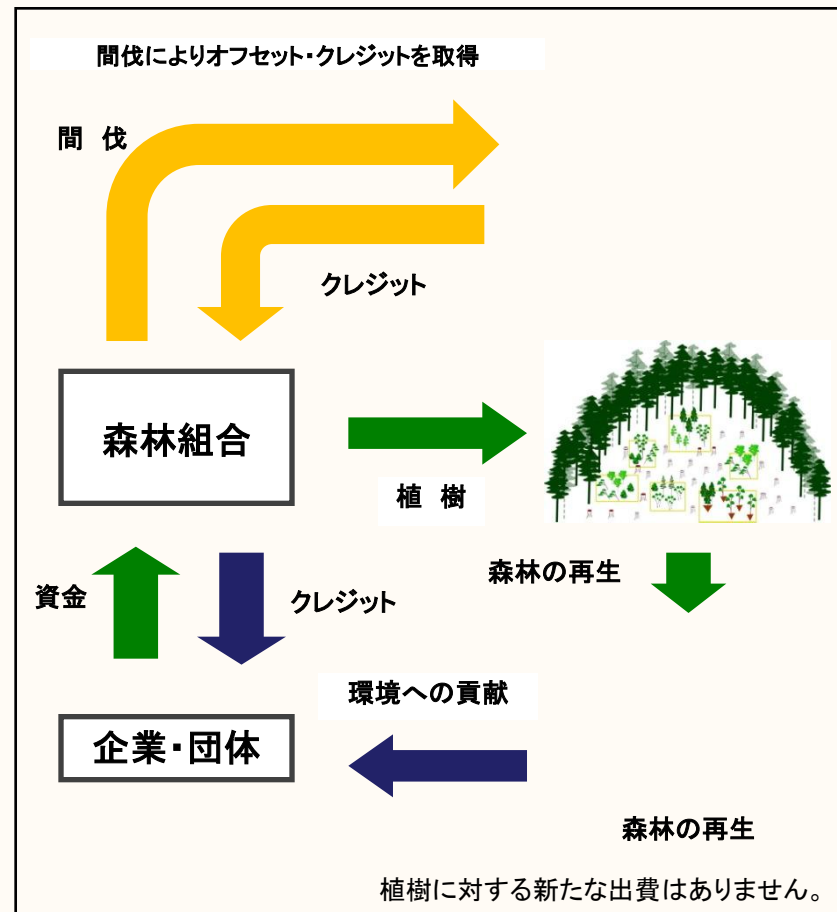
1. 植樹をすると、同時に植樹費用相当額のクレジットが得られます。
2. カーボン・オフセット・クレジットを購入すると、同時にクレジット資金相当額の植樹が行われます。

※希望に応じて植樹に参加いただけます。

## 【森づくりの特徴】

宮川森林組合では、天然林の樹木の棲み分けを基本とし、樹木特性と合わせ、人の暮らしのためになる森づくりを行っています。

- A. 広葉樹を中心とした多様性の高い森づくりを行っています。
- B. 苗木には地域性苗木を使用しています。
- C. シカ害対策として、小規模な区画をフェンスで囲うパッチディフェンスを採用しています。



## ■担当者連絡先

(中須真史、0598-76-0135、nakasu@miyashin.or.jp)